

報 告 書

出張日程

年月日	出張先	用務
自 令和8年 1月13日 至 令和8年 1月14日	熊本県大津町、御船町	議会活性化調査特別委員会研修 議員報酬、議員定数削減

令和8年1月21日

報 告 者

職氏名 川南町議会議員 岸 本 茂 樹



報告事項（1. 経過 2. 感想並びに意見）

1 経過

令和8年1月13日

川南町役場→大津町役場（視察研修 14：00～15：30）→アンドコンフィホテル

令和8年1月14日

アンドコンフィホテル→御船町役場（視察研修 9：30～11：30）→恐竜博物館→川南町役場

2 感想並びに意見

（1）大津町

大津町では議員報酬及び議員定数見直しに向けての取り組みについて、まず、議会活性化検討会議を設置し、議員のなり手不足対策、町民との接点、議員定数、

議員報酬、政務活動費についての検討を行い、次に議会活性化特別委員会を設置している。その後、議会活性化検討会議の答申を踏まえ特別委員会として調査し、結論を得ている。次に特別職報酬等審議会に議員報酬等の議論を委ね答申を得ることになっている。議員報酬引き上げについては、町村議会議長会の提示する原価方式のほか、他自治体との比較データ、平均賃金等の複数のデータから報酬額の引き上げが必要であることを説明している。議員報酬額見直しに伴う財源の考え方や議員定数見直しについて、区長役員会や公募応募者、町PTA連絡協議会役員会とも意見交換会も行っている。町民に対する説明について、町民理解促進キャンペーンとして実施しており、動画での説明、意見聴取、町民の代表との意見交換会なども行っている。増額決定後にも、議会だよりのほか、HPで議論の経緯などを公開・説明し効果があったとつづっている。令和7年2月の改選では、前回の無投票から定数プラス4人の選挙となり一定の効果があったことを示している。
この議員報酬見直しや議員定数の見直しについては、当川南町においても早急に考慮すべき問題であると考えます。
大津町ではホンダの進出やTSMCの影響もあり、現在人口が増加傾向にある。マンションも次々に建設されており、企業で働く人間が増え続けている。
これこそ理想的な人口移住であると思った。議場の設備も素晴らしかった。
(2) 御船町
御船町では議会改革推進特別委員会において、議員のなりて不足解消に向けた議員報酬のあり方及び議員定数について検討を重ねている。
議会は通年議会となっており、本会議、全員協議会、委員会は毎月開催となっている。この他に、あおぞら会議、議会報告会、議会モニターの設置、議会アドバイザーが設置されている。平成27年に議員定数を16名から14名に削減している。平成31年には報告書を作成し、町民や団体からの意見聴取を実施している。令和5年から専門知見を活用し、意見聴取や調査を

通じて議員報酬や待遇の見直しを検討。町内外 87 名、区長会やweb 調査を実施し、46 名の方々から意見を聴取している。この過程の中で、議員待遇に関する協議は報酬改正だけではなく、議員を取り巻く環境や住民意思の確認を含めた議会改革も検討していくとしている。検討する中で3 点を軸として考えており、①意見聴取②議会改革③議員待遇の3 点を軸として今後検討していくとしている。まずは町民の意見十分聞いた上で、議会として適正な議員報酬を新原価方式で試算された月額や報酬引き上げに伴う町の一般会計への影響、類似自治体との比較した数字を町民に周知している。並行して議会改革の取り組みとして、情報発信・情報共有、議会活動への住民参加、議会機能の強化を図っている。他の町議会へのアンケートも行っており、町民に対する意見聴取も重点的に行っている。

町民が議員報酬や議員定数、議会活動についてどう思っているのかということ常を常に把握して、今後の対策に繋げていると感じた。

そうしたうえで、議員のなり手不足解消や住民参加型議会を目指し、議会、議員、町民が一体となっていくことが一番の理想であろう。

川南町においても、議員のなり手不足が一番の課題であり、それを解消するには議員報酬の見直しや議会改革を行っていく必要がある。

しかし、その対策を行う上では町民の理解が必要であり、議会が町民の声を確り聞いたうえで、検討していかなければならない。

以上復命致します。